

施設・機器利用料

1. 施設及び備品利用料 (含む消費税)

(単位:円)

施設・備品名		単 位	利用金額
施設	1 研究室(大) 28㎡ 3室	1室/1か月	23,650
	2 研究室(小) 24㎡ 1室	"	20,570
	3 セミナー室 175.5㎡	1時間	2,360
	4 (冷暖房を使用する場合)		(2,670)
	5 会議室 45.4㎡	"	820
	6 (冷暖房を使用する場合)		(920)
備品等	(7) 液晶プロジェクタ 1台につき	2時間	510
	(8) パソコン(Windows ノート型) 1台につき	"	300

※ セミナー室

①定員	スクール形式(机、椅子有り)80名、スクール形式(椅子のみ)120名、会議形式 30名まで、パーティー形式 70名まで
②マイク	ピンマイク(1本)、ワイヤレスハンドマイク(2本)、有線マイク(2本) 計5本利用できます。(無料)
③スクリーン	たて約2.5m×よこ約3mの自動可動式、看板吊り下げポール 各1
④その他	インターネット接続可能(回線1系統)、湯茶、コーヒーについては、事務局の台所を御利用いただけます。

※ 会議室

①定員	円卓形式 13名
②スクリーン	たて約1.5m×よこ約1.8mの手動可動式、ホワイトボード固定式3面
③その他	インターネット接続可能(回線1系統)、湯茶、コーヒーについては、事務局の台所を御利用いただけます。

2. 機器利用料 (含む消費税)

(単位:円)

機器名		機器の特徴	単 位	利用金額
分析・評価機器	1 走査電子顕微鏡	観察	1時間	4,830
		分析	"	9,660

注)番号欄の()数字の機器利用申請書は、様式4(財団用)となりますのでご注意ください。

2. 機器利用料 (含む消費税)

(単位：円)

機器名			機器の特徴	単 位	利用金額	
分析・評価機器	(2)	電界放射型走査電子顕微鏡	<ul style="list-style-type: none"> 加速電圧: 1, 5, 10, 15kV 観察モード: 二次電子像、反射電子像 倍率: 25倍～20万倍程度 分解能: 2nm 試料形状: 粉体、構造体(φ25×H20mm以下) 	1 時 間	4, 620	
			<ul style="list-style-type: none"> 検出器 : エネルギー分散型(Standard) 分析モード: 線分析、点分析、マップ 検出元素: 炭素以上の元素の定性および半定量分析 	〃	7, 920	
	(3)	偏光顕微鏡	<ul style="list-style-type: none"> 対物倍率: 4, 10, 20, 40倍 デジタル画像保存可能 	〃	1, 330	
	(4)	光学反射顕微鏡	<ul style="list-style-type: none"> 対物倍率: 2.5, 5, 10, 25倍 デジタル画像保存可能 	〃	2, 460	
	5	デジタルマイクロスコープ	<ul style="list-style-type: none"> 5-3000倍 (レンズ倍率) 明視野のみ 	〃	2, 480	
	6	蛍光顕微鏡システム	<ul style="list-style-type: none"> 5, 10, 20, 50, 100倍 (対物レンズ) 明視野、暗視野、蛍光 試料高さ最大65mm 	〃	2, 480	
	7	レーザー顕微鏡	<ul style="list-style-type: none"> 10, 20, 50, 100倍 (対物レンズ) 光学ズーム (6倍まで) 表面粗さ計測、膜厚測定 試料高さ最大28mm 	〃	2, 690	
	8	熱分析システム	熱機械測定装置 (TMA)	<ul style="list-style-type: none"> 測定上限温度 1700℃ 	8 時 間	16, 320
	9		熱重量示差熱分析装置 (TG-DTA)	<ul style="list-style-type: none"> 温度範囲 : 室温～1300℃ 発熱体 : 白金抵抗体 天秤方式 : 水平差動型 	4 時 間	12, 370
	10	紫外可視分光光度計	<ul style="list-style-type: none"> 紫外から可視までの光が吸収、透過、反射する度合いを測定する。 	1 時 間	2, 450	
	11	X線回折装置	<ul style="list-style-type: none"> 最大定格出力: 2kwまで 電圧制御範囲: 20～60kV 横型2θ/θ運動及び単独作動式 自動セッティング機能付き 	〃	6,240	
	(12)	ペーハーメーター	<ul style="list-style-type: none"> pH測定範囲: 0-14 分解能: 0.01pH 	〃	920	
	(13)	比重測定装置システム	<ul style="list-style-type: none"> 質量測定範囲: 0.1mg～200g 水槽容積: 500ml 液層上下駆動: 手動式自動運転 水槽温度測定: 可能 	〃	1, 130	
	(14)	粒度分布測定装置	<ul style="list-style-type: none"> 測定方法: レーザ回折・散乱法 測定範囲: 0.02～500μm 測定方式: 湿式 フローセルによる 	〃	2, 050	
	15	流動式比表面積自動測定装置	<ul style="list-style-type: none"> 吸着量検出法: 連続流動法 測定法: BET1点法 脱ガス温度: 最高400℃以上 	〃	1, 480	
	16	万能材料試験機	100kN (機械式)	<ul style="list-style-type: none"> 主に耐火物の常温での曲げ試験 	〃	3, 180

注) 番号欄の()数字の機器利用申請書は、様式4 (財団用)となりますのでご注意ください。

2. 機器利用料 (含む消費税)

(単位: 円)

機器名		機器の特徴	単 位	利用金額	
分析・ 評価 機器	17 真密度測定装置	<ul style="list-style-type: none"> 測定方式: 定容積膨張法 試料セル容積: 5~10cc、30~50ccに変更可能 設定条件: 自動測定可能、繰り返し99回まで可能 測定可能試料: ペーストおよび液状の試料も可能 	〃	1,140	
	18 硬度計 (ビッカース)	<ul style="list-style-type: none"> 試験荷重: 10~1000g HV700スタンダード有り 	〃	1,330	
	19 弾性率測定装置 (音波法)	室温のとき	<ul style="list-style-type: none"> 超音波を測定手段とした試験機 使用振動子: 50kHz 	〃	1,130
		熱間のとき	<ul style="list-style-type: none"> 最高温度: 1400℃ 使用振動子: 20kHz 	8 時 間	9,660
	20 動弾性率測定装置	<ul style="list-style-type: none"> 測定方式: ISO 12680に準ずる方法 測定範囲: 0.1~840 GPa以上 対象試料範囲: 耐火物など大型試験片形状に対応 試験片形状: 65×114×230 mm、40×40×160 mm他 検出器: ピエゾ電気振動検出器と音響振動検出器が付属 衝撃印加方法: タッピングハンマーによる打音 	1 時 間	2,160	
	21 高熱伝導率測定装置 (熱流法)	<ul style="list-style-type: none"> 定常平行熱流法による絶対法 最高温度: 800℃ 12~80W/m²k 	8 時 間	30,850	
	22 自動熱膨張率測定装置	<ul style="list-style-type: none"> 雰囲気: 大気又はArの場合 最高温度1500℃ 雰囲気: N₂の場合 最高温度1400℃ 	〃	30,030	
	(23) 熱間クランプ・荷重軟化試験炉	<ul style="list-style-type: none"> 試料: 径50×高50mm、12.5mm穴あき試験片 形式: 昇降式管型電気炉 発熱体: ニケイ化モリブデン 温度制御: デジタル式プログラム温度制御 最高温度: 1400℃ 	〃	15,940	
	24 荷重軟化試験機	<ul style="list-style-type: none"> 無酸化雰囲気 (Arガス置換) 最高温度: 1700℃ 	〃	30,650	
	25 熱間圧縮強さ試験機	<ul style="list-style-type: none"> 雰囲気: 常用1500℃、最高1550℃ / N₂, Ar 常用1400℃、最高1500℃ 炉内寸法: W200×H200×D350mm 試料台材質: シリコライト 押棒材質: シリコライト・台座材質: 電融アルミナ 	〃	67,100	
(26) 摩耗試験機	<ul style="list-style-type: none"> 試料: 114×114×65mm 吹付け圧力: 450kPa 	1 時 間	3,390		
(27) 通気率計測システム	<ul style="list-style-type: none"> 試料: 径50×高50mm 通気ガス: N₂ 測定ガス圧: 0.1 ~100 kPa 測定ガス流量: 1~5000 ml/分 広い通気率の測定に適用 (耐火物用) 	〃	1,330		
電 気 炉	(28) 高温大型電気炉	<ul style="list-style-type: none"> 常用温度: 1600℃ 雰囲気: 大気 炉内寸法: W600×D600×H600 	8 時 間	24,890	
	(29) 焼成炉	<ul style="list-style-type: none"> 常用温度: 1400℃ 雰囲気: 大気 炉内寸法: 幅250高250奥500mm 	8 時 間	17,000	
			8 時間増すごと	11,660	
	(30) 電気炉スーパーマックス	<ul style="list-style-type: none"> 常用温度: 1600℃ 雰囲気: 大気 炉内寸法: W150×D180×H140 	8 時 間	8,120	
	(31) 高温カーボン炉	<ul style="list-style-type: none"> 常用温度: 1700℃ 雰囲気: Ar, N₂ 炉内寸法: φ280×H200mm 	8 時 間	36,720	
			8 時間増すごと	28,690	
32 電気管状炉	<ul style="list-style-type: none"> 常用温度: 1300℃ 炉心管内径: φ26mm 	8 時 間	17,170		

注) 番号欄の()数字の機器利用申請書は、様式4 (財団用) となりますのでご注意ください。

2. 機器利用料（含む消費税）

（単位：円）

機器名		機器の特徴	単 位	利用金額
成形機	(33) 通電加圧焼結装置	<ul style="list-style-type: none"> ・最高温度：2000℃ ・最大電流：8000A ・最大加圧：200kN ・雰囲気：真空、不活性ガス、大気 	1 時 間	53,790
粉碎機等	34 ジョークラッシャー	<ul style="list-style-type: none"> ・岩石等の粗粉碎機 ・50mm程度の物を10mm程度に粉碎可能 	1 時 間	610
	35 ボールミル	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミナボール使用 ・ポット材質：ポリ及び磁性容器 ・ポット容器：2Lまで 	4 時 間	1,020
	36 ヘンシェルミキサー	<ul style="list-style-type: none"> ・混合槽 9L ・回転範囲 1100～3900rpm 	1 時 間	920
	37 小型混練機	<ul style="list-style-type: none"> ・混練能力：10～5 k g /バッチ ・混練時間：MgO-Cれんが配合で30分で混練可能 	//	3,240
	(38) 混練機	<ul style="list-style-type: none"> ・容量：4.7L ・容器材質：ステンレス ・自転：MAX488rpm ・公転：MAX214rpm 	//	1,850
	(39) 油圧式平面研削盤	<ul style="list-style-type: none"> ・砥石：外径φ300×幅20mm ・常用材質：粒度#150 レジノボント ・テーブル作業面：長さ600×幅300mm 	//	3,080
加工機	(40) 切断機（湿式）	<ul style="list-style-type: none"> ・切断刃：20インチ（φ500mm）ダイヤモンドプレート ・昇降幅：250mm ・切断長さ：600mm 	//	2,160
	(41) 試料切断機（クリンカット）	<ul style="list-style-type: none"> ・切断刃：12インチ（φ300mm）ダイヤモンドプレート ・前後ストローク：85mm ・方式：水冷 	//	1,740
	42 ダイヤカットマシン（帯鋸タイプ）	<ul style="list-style-type: none"> ・切断刃：帯鋸状 ・可能切断：直線切断、曲線切断、鋭角切断 ・速度：最高1,200mm/分、インバータ変速 ・切断能力：最大厚さ240mm、最大奥行360mm ・テーブル傾斜：25度以上 ・使用可能ダイヤモンド刃：幅3mm、長さ2,160mm、厚み0.3mmが可能 ・冷却：切断刃の水冷を循環式で行える 	//	3,360
	(43) ボーリングマシン	<ul style="list-style-type: none"> ・孔径：φ10～φ80mm ・加工長さ：1～250mm 	//	2,050
その他	44 測定器、記録計、前処理機、その他の計測器	測定記録計など料金設定のない、比較的操作が簡単な機器	1 台 / 1 時間	1,130

注) 番号欄の()数字の機器利用申請書は、様式4 (財団用) となりますのでご注意ください。